

和歌山県版消費者教育イメージマップ（本県独自の項目追加）

	成人期						
	特に若者	成人一般	特に高齢者	高校生期	中学生期	小学生期	幼児期
各期の特徴	様々な気づきの体験を通じて、家族や身の回りの物事に関心をもち、それを取り入れる時期						
重点領域	主体的な行動、社会や環境への興味を通して、消費者としての素地の形成が望まれる時期						
	行動の範囲が広がり、権利と責任を理解し、トラブル解決方法の理解が望まれる時期						
	生涯を見通した生活の管理や計画の重要性、社会的責任を理解し、主体的な判断が望まれる時期						
	生活において自立を進め、消費生活のスタイルや価値観を確立し自らの行動を始める時期						
	精神的、経済的に自立し、消費者市民社会の構築に、様々な人々と協働し取り組む時期						
	周囲の支援を受けつつも人生での豊富な経験や知識を、消費者市民社会構築に活かす時期						
消費者市民社会の構築	消費がもつ影響力を自覚した判断能力	おつかいや買い物に関心を持つよう	消費をめぐる物と金銭の流れを考えよう	消費者の行動が環境や経済に与える影響を考えよう	生産・流通・消費・廃棄が環境、経済、社会に与える影響を考えよう	生産・流通・消費・廃棄が環境、経済、社会に与える影響に配慮して行動しよう	消費者の行動が環境、経済、社会に与える影響に配慮することの大切さを伝え合おう
	持続可能な消費など公正かつ持続可能な社会の実現を実践する力	身の回りのものを大切にしよう	自分の生活と身近な環境とのかかわりに気づき、物の使い方などを工夫しよう	消費生活が環境に与える影響を考え、環境に配慮した生活を実践しよう	持続可能な社会を目指して、ライフスタイルを考えよう	持続可能な社会を目指したライフスタイルを探そう	持続可能な社会に役立つライフスタイルについて伝え合おう
	課題解決に向けて主体的に参画・協働する力	協力することの大切さを知ろう	身近な消費者問題に目を向けよう	身近な消費者問題及び社会課題の解決や、公正な社会の形成について考えよう	身近な消費者問題及び社会課題の解決や、公正な社会の形成に協働して取り組むこと	消費者問題その他の社会課題の解決や、公正な社会の形成に向けた行動の場を広げよう	地域や職場で協働して消費者問題その他の社会課題を解決し、公正な社会をつくらう
商品等の安全	商品安全の理解と危険を回避する能力	くらしの中の危険や、ものの安全な使い方に気づこう	危険を回避し、物を安全に使う手がかりを知ろう	危険を回避し、物を安全に使う手段を知り、使おう	安全で危険の少ないくらしと消費社会を目指すことの大切さを理解しよう	安全で危険の少ないくらしと消費社会をつくらう	安全で危険の少ないくらしの大切さを伝え合おう
	トラブル対応能力	困ったことがあったら身近な人に伝えよう	困ったことがあったら身近な人に相談しよう	販売方法の特徴を知り、トラブル解決の法律や制度、相談機関を知ろう	トラブル解決の法律や制度、相談機関の利用法を知ろう	トラブル解決の法律や制度、相談機関を利用する習慣を付けよう	トラブル解決の法律や制度、相談機関を利用しやすい社会をつくらう
生活の管理と契約	選択し、契約することへの理解と考える態度	約束やきまりを守ろう	物の選び方、買い方を考え適切に購入しよう	商品を選択するときに、契約とそのルールを知り、よりよい契約の仕方を考えよう	適切な意思決定に基づいて行動しよう	契約の内容・ルールを理解し、よく確認して契約する習慣を付けよう	契約とそのルールを理解し、くらしに活かそう
	生活を設計・管理する能力	欲しいものがあつたときは、よく考え、時には我慢することをおぼえよう	物や金銭の大切さに気づき、計画的な使い方を考えよう	消費に関する生活管理の技能を活用しよう	主体的に生活設計を立ててみよう	生涯を見通した生活経済の管理や計画を考えよう	経済社会の変化に対応し、生涯を見通した計画的なくらしをしよう
	災害等、非常時における冷静かつ正しい消費行動	欲しいものがあつたときは、よく考え、時には我慢することをおぼえよう	賞味期限など、非常時に役立つ知識を身につけよう	必要なものを選び、無駄のない消費行動をしよう	非常時の意識を持った消費行動をしよう	不確かな情報にまどわされない消費行動をしよう	非常時の備えを行い、不確かな情報にまどわされない消費行動をしよう
	情報とメディア	情報の収集・処理・発信能力	身の回りのさまざまな情報に気づこう	消費に関する情報の集め方や活用の仕方を知ろう	消費生活に関する情報の収集と発信の技能を身に付けよう	情報と情報技術の適切な利用法や、国内だけでなく国際社会との関係を考えよう	情報と情報技術を適切に利用する習慣を身に付けよう
	情報社会のルールや情報モラルの理解	自分や家族を大切にしよう	自分や知人の個人情報を守るなど、情報モラルを知ろう	著作権や発信した情報への責任を知ろう	望ましい情報社会のあり方や、情報モラル、セキュリティについて考えよう	情報社会のルールや情報モラルを守る習慣を付けよう	トラブルが少なく、情報モラルが守られる情報社会をつくらう
	消費生活情報に対する批判的思考力	身の回りの情報から「なぜ」「どうして」を考えよう	消費生活情報の目的や特徴、選択の大切さを知らう	消費生活情報の評価、選択の方法について学び、意思決定の大切さを知らう	消費生活情報を評価、選択の方法について学び、社会との関連を理解しよう	消費生活情報を主体的に吟味する習慣を付けよう	消費生活情報を主体的に評価して行動しよう

※本イメージマップで示す内容は、学校、家庭、地域における学習内容について体系的に組み立て、理解を進めやすいように整理したものであり、学習指導要領との対応関係を示すものではありません。

和歌山県における消費者教育について(発達段階別)

消費者教育の取組の現在

既に取り組んでいるが、今後強化すべき課題

今後の課題又は不足している事項

重点領域	各期の特徴	幼児期	小学生期	中学生期	高校生期	成人期			
						特に若者	成人一般	特に高齢者	
消費者市民社会の構築・商品等の安全・生活の管理と契約・情報とメディア	各期の特徴	様々な気づきの体験を通じて、家族や身の回りの物事に関心をもち、それを取り入れる時期	主体的な行動、社会や環境への興味を通して、消費者としての素地の形成が望まれる時期	行動の範囲が広がり、権利と責任を理解し、トラブル解決方法の理解が望まれる時期	生涯を見通した生活の管理や計画の重要性、社会的責任を理解し、主体的な判断が望まれる時期	生活において自立を進め、消費生活のスタイルや価値観を確立し自らの行動を始める時期	精神的、経済的に自立し、消費者市民社会の構築に、様々な人々と協働し取り組む時期	周囲の支援を受けつつも人生での豊富な経験や知識を消費者市民社会構築に活かす時期	
	行政(県)	課題(消費者啓発講座) 課題 課題 (消費者啓発物資作成・配布・貸出)	課題 課題 消費者教育の担い手育成 夏休み！親子で学ぶ消費者教室 ※県金融広報委員会との共催	課題 学校向け消費者教育授業の実践(デモ講座)	消費者啓発講座 消費者啓発物資等作成・配布・貸出 消費者月間事業 課題	課題(生活教養講座) 課題(消費者安心サポート事業)	課題(消費者教育の担い手育成事業) 生活教養講座 夏休み！親子で学ぶ消費者教室 消費者月間事業 消費者安心サポート事業(消費生活サポーター)	課題 課題	
	県教育委員会(学校教育)		学習指導要領に基づく消費者教育の実施 専門研修事業(教員対象)						
	県教育委員会(社会教育)		きのくに共育コミュニティ形成促進事業(共育支援メニューフェア事業)						
	県金融広報委員会	金融広報アドバイザーの派遣	金融・金銭教育研究校の委嘱 夏休み！金銭教育バス教室 教員向け消費者教育セミナー 夏休み！親子で学ぶ消費者教室 ※県消費生活センターとの共催	課題 課題	金融学習グループ 夏休み！金銭教育バス教室 金融経済講演会 夏休み！親子で学ぶ消費者教室 暮らしの達人！知るぼると講座				
関係機関	コーピキョウドウの森であそぼう	【わかやま市民生活協同組合】 消費者教育・啓発に関する取組 【和歌山県生活学校連絡協議会】	出前講座【NPO法人消費者サポートネット和歌山】 【わかやま市民生活協同組合】 【NPO法人消費者サポートネット和歌山】 【和歌山県生活協同組合連合会】 【和歌山県生活協同組合連合会】 【わかやま市民生活協同組合】 【わかやま市民生活協同組合】 【わかやま市民生活協同組合】 【わかやま市民生活協同組合】 【(一社)和歌山県不動産鑑定士協会】 【和歌山県生活学校連絡協議会】	出前講座【和歌山弁護士会】	コーピキョウドウの森であそぼう セミナー開催 消費者啓発講座・学習会 消費者啓発 一日エコライフ わがまち調べ活動 食の安全に関する学習会 消費者教育・啓発に関する取組	研修会・啓発資料配布 【(一社)和歌山県老人クラブ連合会】			
事業者団体	【(一社)和歌山県LPガス協会】	人を育むLPガス(子供たちへの火育・食育活動)	無料相談会			無料相談会			
法曹関係等専門士業団体				出前講座【和歌山弁護士会】					

※本イメージマップで示す内容は、学校、家庭、地域における学習内容について体系的に組み立て、理解を進めやすいように整理したものであり、学習指導要領との対応関係を示すものではありません。

和歌山県における消費者教育について(対象領域別)

消費者教育の
取組の現在

今後の課題又は
不足している事項

対象領域	行政(県)			県教育委員会 (学校教育)	県教育委員会 (社会教育)	県金融広報委員会	消費者団体等	事業者 団体	法曹関係等専 門士業団体
	<p>消費者市民社会の構築</p> <p>消費がもつ影響力を自覚した判断能力</p> <p>持続可能な消費など公正かつ持続可能な社会の実現を实践する力</p> <p>課題解決に向けて主体的に参画・協働する力</p>	<p>消費者啓発講座／生活教養講座／消費者教育の実践(デモ講座)／消費者啓発物資等作成・配布・貸出／消費者月間関連事業</p>	<p>消費者安心サポート事業(消費者生活サポーター)</p>	<p>夏休み！親子で学ぶ消費者教室</p>	<p>専門研修事業(食育研修講座)</p>	<p>きのくに共育コミュニティ形成促進事業(共育支援メニューフェア事業)</p>	<p>金融広報アドバイザーの派遣／金融・金銭教育研究の委嘱／金融学習グループ／教員向け消費者教育セミナー／夏休み！金銭教育バス教室／金融経済講演会／暮らしの達人！知るぼると講座</p>	<p>消費者啓発 【和歌山県生活協同組合連合会】</p> <p>消費者教育・啓発に関する取組 【わかやま市民生活協同組合】</p> <p>出前講座／セミナー開催 【NPO法人消費者サポートネット和歌山】</p>	<p>人を育むLPガス(子供たちへの火育・食育活動)</p>
<p>商品等の安全</p> <p>商品安全の理解と危険を回避する能力</p> <p>トラブル対応能力</p>	<p>県金融広報委員会との共催</p>	<p>商品の安全等、消費者事故、トラブル防止に関する取組</p>					<p>食の安全に関する学習会</p>	<p>研修会・啓発資料配布</p>	<p>【わかやま市民生活協同組合】</p>
<p>生活の管理と契約</p> <p>選択し、契約することへの理解と考える態度</p> <p>生活を設計・管理する能力</p> <p>災害等、非常時における冷静かつ正しい消費行動</p>	<p>生活教養講座／消費者啓発物資等作成・配布</p>	<p>消費者安心サポート事業(消費者生活サポーター)</p>	<p>夏休み！親子で学ぶ消費者教室</p>	<p>専門研修事業(事例に学ぶ情報モラル教育研修講座)</p>		<p>金融広報アドバイザーの派遣／金融・金銭教育研究の委嘱／金融学習グループ／教員向け消費者教育セミナー／夏休み！金銭教育バス教室／金融経済講演会／暮らしの達人！知るぼると講座</p>	<p>消費者啓発講座・学習会</p>	<p>【和歌山県生活協同組合連合会】</p>	<p>出前講座【和歌山弁護士会】</p>
<p>情報とメディア</p> <p>情報の収集・処理・発信能力</p> <p>情報社会のルールや情報モラルの理解</p> <p>消費生活情報に対する批判的思考力</p>	<p>消費者啓発講座／生活教養講座／消費者教育の実践(デモ講座)／消費者啓発物資等作成・配布・貸出／消費者月間関連事業</p>	<p>消費者安心サポート事業(消費者生活サポーター)</p>	<p>夏休み！親子で学ぶ消費者教室</p>			<p>金融広報アドバイザーの派遣／金融・金銭教育研究の委嘱／金融学習グループ／教員向け消費者教育セミナー／夏休み！金銭教育バス教室／金融経済講演会／暮らしの達人！知るぼると講座</p>			

※本イメージマップで示す内容は、学校、家庭、地域における学習内容について体系的に組み立て、理解を進めやすいように整理したものであり、学習指導要領との対応関係を示すものではありません。